



ゆい
しっかり者。
頼りない兄のフォロー役(?)



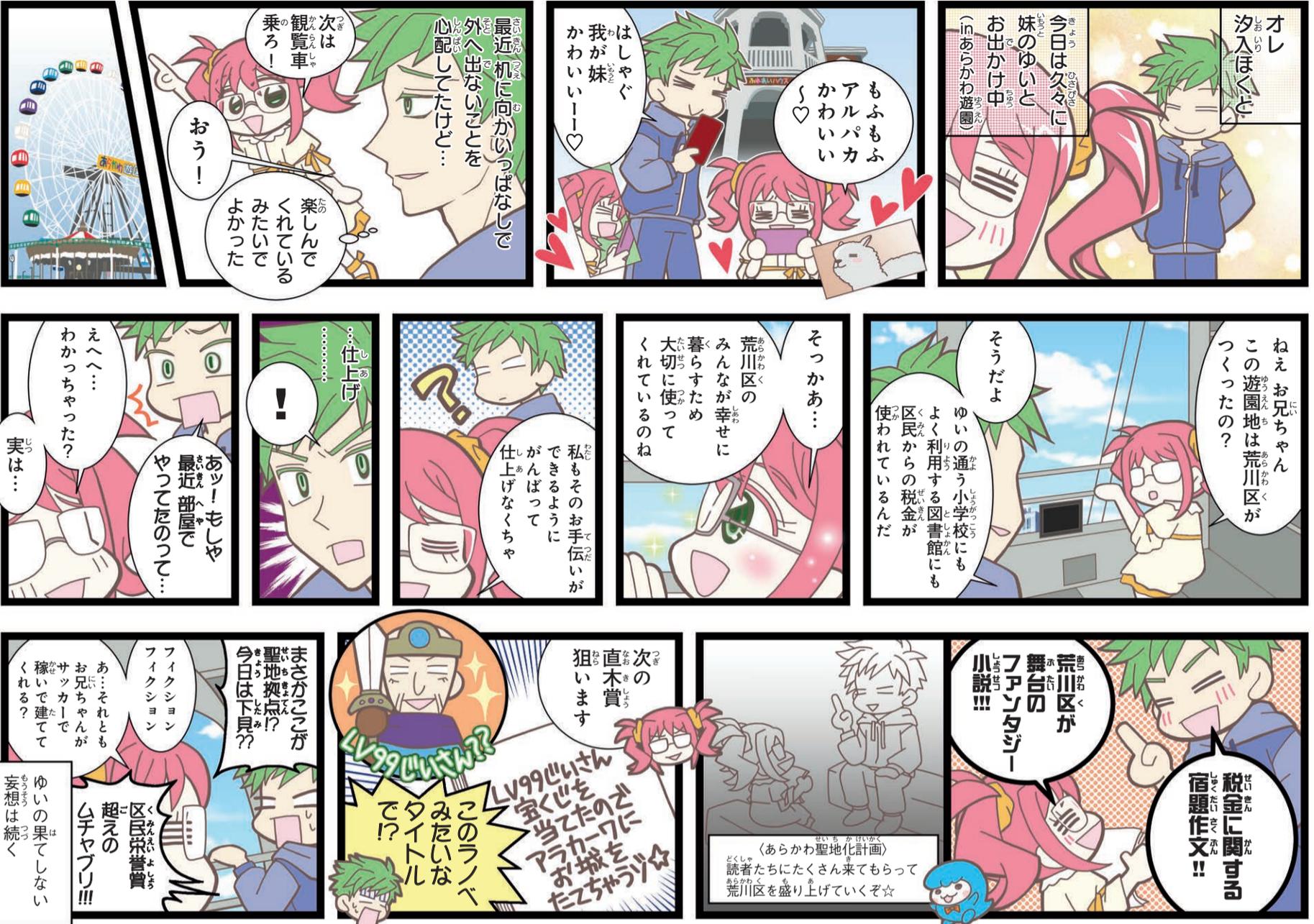
ほくと
妹思いなゆいの兄。
熱血漢でスポーツ万能



裏のおじいちゃん
ゆいと仲良しの
裏に住んでいるおじいちゃん

作・ガズキ伊緒

あらかわ少女☆ゆいちゃん



Topics

**原中学校で、本番さながらに
生徒会選挙が行われました**

9月16日、原中学校で、生徒会本部役員選挙が行われました。

当日は、数年後に18歳となり選挙権を持つ生徒の皆さんに選挙への関心を持ってもらうため、荒川区選挙管理委員会の委員や職員に加え、明るい選挙推進協議会の委員が学校を訪れ、立会人など選挙のサポートを行いました。

生徒の皆さんは、まず演説会に参加し、立候補者の熱のこもった演説を聞きました。その後、本番の選挙で使う投票箱や記載台、計数機などを使用して投票を行いました。

本番の選挙のような雰囲気、生徒の皆さんは緊張しながらも真剣に参加し、選挙を身近に感じられたようです。

▲立会人を前に、本物の投票箱に投票!

あらかわ
今昔ものがたり
〔あらかわの歴史と伝説〕

その140 **カメラが捉えた明治の風景**
～早取写真師・あらかわを撮る～

運動会・お誕生会などの行事の時やお出かけした時、きれいな風景やカッコいい建物に出会った時に写真を撮るよね。中にはSNSにアップしているお友だちもいるんじゃないかな?

外国人が撮影したあらかわ ところで、あらかわを写した写真の中で一番古いのは、いつごろのものだと思う? なにに、大正11年(1922)にできたあらかわ遊園の写真を見たことがあるから大正時代じゃないかって? いやいや、もっと古い写真があるんだよ。

明治時代の初め、イギリス人が南千住にやってきて、大きなお地蔵さん(現、南千住二丁目、首切地蔵)を撮影した。その写真が英字新聞で紹介されたんだよ。それに、イタリア公使が全国の名所を撮影し、記念アルバムをイタリアに持ち帰った。その中でも千住大橋・橋場・日暮里などのあらかわの名所があったんだよ。

写真の技術がやってきた! 写真の技術が日本に伝わったのは、江戸時代の終わりごろ。すごい写真ブームが巻き起こったんだって。その

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234

野尻 執筆
野尻さん

後、日本人の写真師も登場し、日本の写真技術の祖といわれる長崎の上野彦馬さんや横浜の下岡蓮丈さん、そのお弟子さんたちが大活躍するようになったんだ。

早取写真師が撮ったあらかわ その中に、明治時代のあらかわを撮影した写真師がいた。下岡さんの弟子、江崎礼二さんだ。撮影したのは、明治12年(1879)に創設された国営の千住製絨所(現、南千住六丁目)。そうそう、日本で初めてウールを製造した工場だね。それをカッコよく写すのだから写真師は名人じゃないとね。江崎さんには「早取写真師」という呼び名があった。明治15年(1882)に新しい写真の技術「乾板」を使って、水雷の爆破実験の撮影に成功したことから付いた呼び名なんだ。写真の台紙には「早取写真師江崎礼二」と書かれていたんだよ。その他にも、荒川ふるさと文化館で開催中の企画展「カメラがとらえたあらかわの一日の場所」(12月4日まで)で古い写真がいっぱい展示されているから、みんなで見に来てね。

▲江崎礼二撮影 千住製絨所 (荒川ふるさと文化館蔵)